

工学部建築学科

学位（教育）プログラム名：建築学

本プログラムでは建築技術者として十分な基礎学力、高度で実践的な専門性、調和のとれた教養を身につけた、社会において指導力を発揮し幅広く活躍・貢献できる人材を、地域と連携して育成することを教育の目的としている。これに即した、プログラムのディプロマポリシーに掲げた能力を育成するため、以下の特色を持つ教育課程を編成している。

【教育内容】

工学技術の基礎となる数学・自然科学の知識、建築学と関連する文科系学問の基礎教養、建築における基礎的な知識を、それぞれ工学共通科目、専門科目を通して学習する。そして現実の問題を解決するための応用力を、構造・材料、歴史・意匠、計画・設計、環境の四分野に体系化し、初歩から実践まで段階的に養成する。さらに作業計画を立案・遂行する能力を、入学直後から継続的に開講される設計・演習・実習・実験の各科目と卒業計画を通して育成する。

【教育方法】

1・2年次に基礎的な内容の科目を重点的に配置し、基礎学力の充実をはかる。3年進級時のコースわけ以後は、学生の選択した分野の科目を集中的に受講させ、高度な専門性を獲得させる。このとき実習・演習科目において、入学直後から一貫して一人ひとりに対一の丁寧な指導を徹底しておこなう。また外部、特に福岡周辺で活躍している実務家教員を積極的に招聘し地域の実際に即した教育をおこなう。卒業研究では最先端の研究テーマに複数の教員の指導の下で取り組み、周囲と協働して研究を推進する力を薫陶する。加えて4年間を通し、学生に教員が対面で修学や生活の相談に乗るアドバイザー制度を実施する。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。